1) - 4 緑被地の前回調査との比較(5地域別)

- 「緑被率」の増加が最も大きいのが高島平地域(1.5ポイント)、次いで板 橋地域(0.9ポイント)、志村地域(0.5ポイント)であった。
- ・ 赤塚地域は0.1ポイントの減少であった。

表4-18 5地域別の緑被地の変化(1㎡以上)

			平成21年					平成26年					
地域	面積 (ha)	樹木 被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	緑被率	樹木 被覆地	草地	農地	屋上 緑化	緑被地	緑被率
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(%)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(%)
板橋	525.0	62.8	5.5	0.2	1.7	70.2	13.4	62.6	8.9	0.2	3.1	74.7	14.2
常盤台	467.1	72.9	6.4	0.4	0.8	80.5	17.2	69.9	9.6	0.3	1.2	81.0	17.3
志村	644.6	96.9	8.8	4.8	1.1	111.5	17.3	96.6	12.1	3.8	2.2	114.8	17.8
赤塚	655.0	114.9	6.7	20.2	1.2	143.0	21.8	111.5	12.8	16.8	1.5	142.5	21.8
高島平	925.3	113.1	107.1	1.2	3.5	224.9	24.3	116.9	117.5	0.9	3.3	238.7	25.8
区全域	3217.0	460.5	134.4	26.8	8.3	630.0	19.6	457.4	161.0	22.1	11.3	651.7	20.3

※小数第2位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

表4-19 5地域別の緑被地の変化

			増減							
地域	面積 (ha)	樹木 被覆地	草地	農地	屋上緑化	緑被地	緑被率			
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(%)			
板橋	525.0	▲ 0.2	3.4	0.0	1.4	4.5	0.9			
常盤台	467.1	▲ 3.1	3.3	0.0	0.4	0.6	0.1			
志村	644.6	▲ 0.3	3.3	1 .0	1.2	3.3	0.5			
赤塚	655.0	▲ 3.4	6.1	▲ 3.5	0.3	▲ 0.5	▲ 0.1			
高島平	925.3	3.8	10.4	▲ 0.3	▲ 0.2	13.8	1.5			
区全域	3217.0	▲ 3.2	26.5	▲ 4.7	3.1	21.7	0.7			

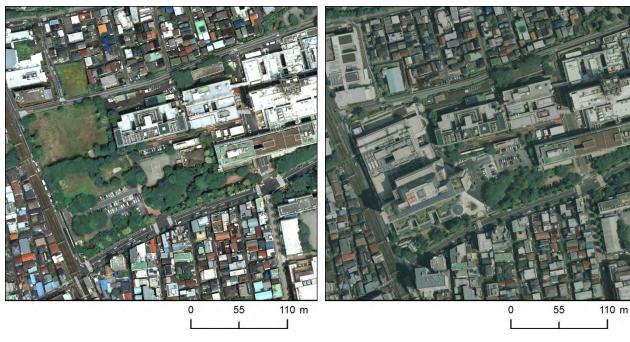
【板橋地域】

- ・板橋地域では「樹木被覆地」が0.2haの減少、「草地」が3.4haの増加、屋上緑化が1.4haの増加で、「緑被地」全体で4.5haの増加であった。
- ・「樹木被覆地」の主な減少は都健康長寿医療センター、都立板橋看護専門学校、板橋第三中学校、都営富士見町アパートの建築に伴うものの他、弥生町で樹林の減少があった。
- ・「草地」の主な増加は帝京大学医学部付属病院の緑地整備であった。

都健康長寿医療センター 栄町

平成 21 年

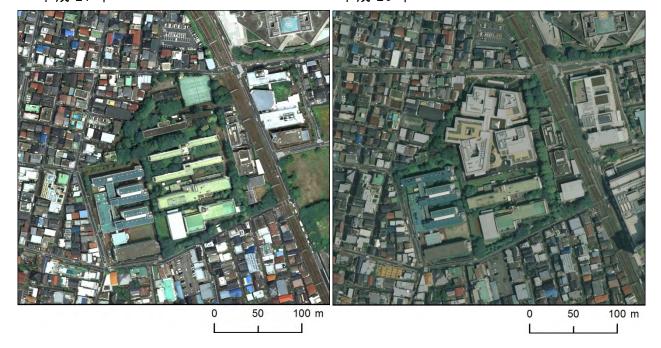
平成 26 年



都立板橋看護専門学校 仲町

平成 21 年

平成 26 年



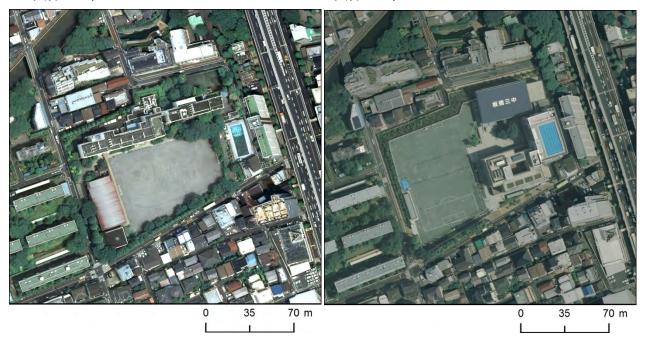
都営富士見町アパート 富士見町 平成 21 年

平成 26 年



区立板橋第三中学校 氷川町 (再掲) 平成 21 年

平成 26 年



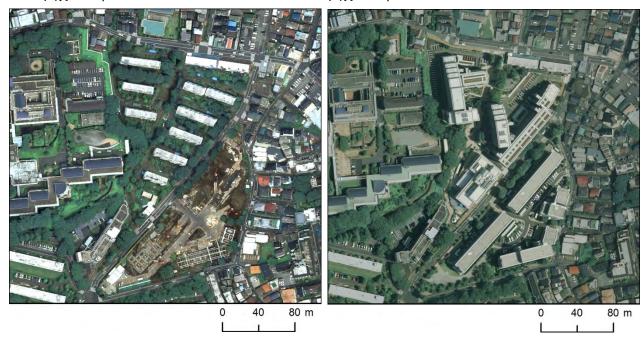
【常盤台地域】

- ・常盤台地域では「樹木被覆地」が3.1haの減少、「草地」が3.3haの増加、「屋上緑化」が0.4haの増加で、「緑被地」全体で0.6haの増加であった。
- ・「樹木被覆地」の主な減少は向原団地の建替に伴う減少、要町通りの街路樹 の減少、南常盤台二丁目や大谷ロー丁目の樹林の減少であった。
- ・「草地」の主な増加は心身障害児総合医療療育センターの緑地による増加で あった。

向原団地 向原三丁目 (再掲)

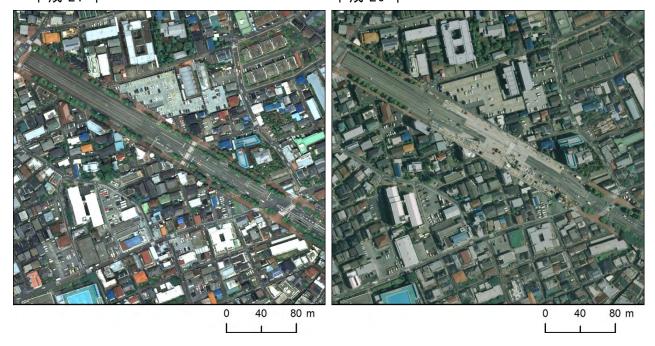
平成 21 年

平成 26 年



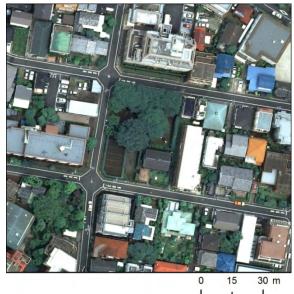
要町通り 向原一丁目・二丁目 平成 21 年

平成 26 年



南常盤台二丁目 平成 21 年

平成 26 年

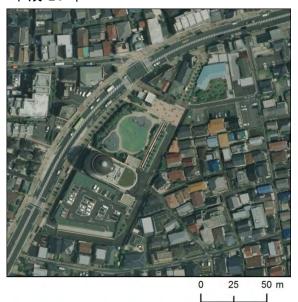




大谷口一丁目 平成 21 年

平成 26 年

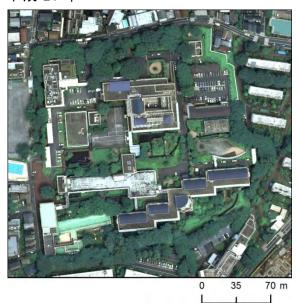




心身障害児総合医療療育センター 小茂根一丁目

平成 21 年

平成 26 年





【志村地域】

- ・志村地域では「樹木被覆地」が0.3haの減少、「草地」が3.3haの増加、「農地」が1.0haの減少、「屋上緑化」が1.2haの増加で、「緑被地」全体で3.3haの増加であった。
- ・「樹木被覆地」は小豆沢三丁目の商業施設の建設、旧志村高校の建て替え、 中台三丁目、西台一丁目、前野町二丁目・五丁目等で樹林が減少していた。
- ・「草地」の主な増加は旧志村高校のグラウンドの芝生化であった。

小豆沢三丁目 平成 21 年 平成 26 年 90 m (再掲) 西台一丁目 旧志村高校 平成 21 年 平成 26 年

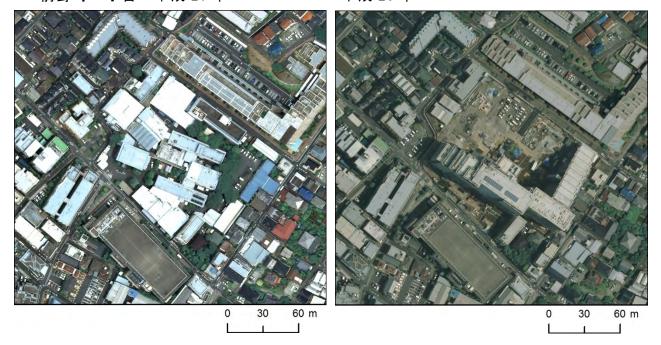
80 m

40

80 m

前野町二丁目 平成 21 年

平成 26 年

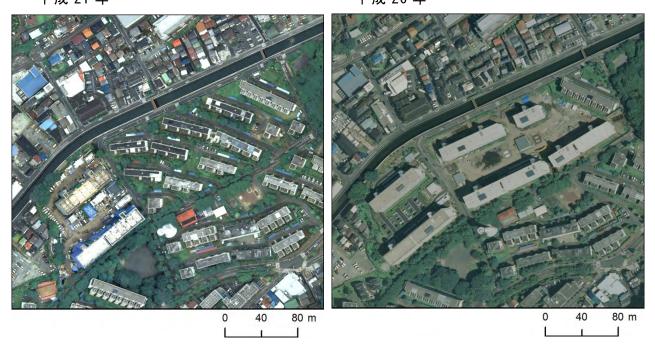


【赤塚地域】

- ・赤塚地域では「樹木被覆地」が3.4haの減少、「草地」が6.1haの増加、「農地」が3.5haの減少、屋上緑化が0.3haの増加で、「緑被地」全体で0.5haの減少であった。
- ・「樹木被覆地」は都営成増アパート、赤塚第二中学校の建て替えに伴う減少、 菅原神社の樹林減少、成増五丁目、四葉二丁目、徳丸六・八丁目の樹林の減 少であった。
- ・「農地」の減少箇所は地域全域にわたっており、農地全体または一部が減少していた。

都営成増アパート 成増五丁目 平成 21 年

平成 26 年



区立赤塚第二中学校 成增三丁目 平成 21 年 平成 26 年 30 60 m 30 60 m 成增五丁目社寺 平成 21 年 平成 26 年

50 m

25

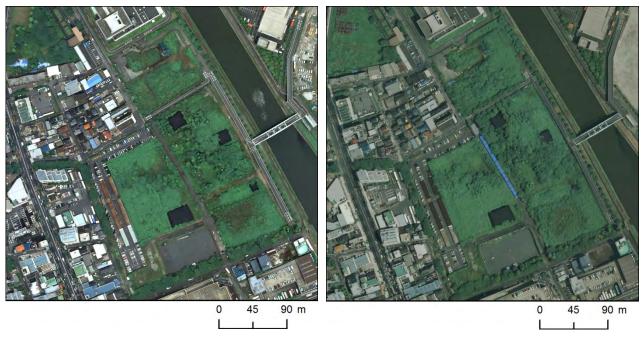
50 m

【高島平地域】

- ・高島平地域では「樹木被覆地」が3.8haの増加、「草地」が10.4haの増加、「農 地」が0.3haの減少、屋上緑化が0.2haの減少で、「緑被地」全体で13.8haの増 加であった。
- ・「樹木被覆地」の増加は、東坂下二丁目の新河岸川沿い、荒川沿いの供給処 理施設内の緑地の増加が主なものであった。
- ・「草地」は東坂下二丁目の新河岸川沿い、荒川沿いの供給処理施設内の緑地 が主な増加箇所であった。

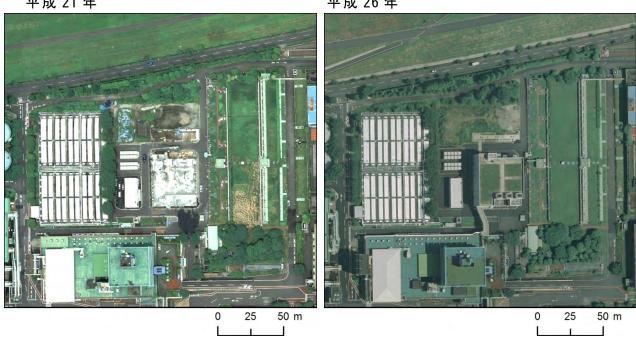


平成 26 年



供給処理施設 新河岸三丁目 平成 21 年

平成 26 年



1) -5 緑被地の前回調査との比較(32地区別)

- ・ 「緑被率」が最も増加したのは東坂下地区で8.5ポイント、次いで加賀地 区が4.0ポイント、三園地区が2.3ポイントの増加であった。
- 「緑被率」が最も減少したのが向原地区で1.6ポイントの減少、次いで成 増地区が0.8ポイント、蓮沼町地区が0.6ポイントの減少であった。

順位	地区	緑被率変化上位
1	東坂下	8.5
2	加賀	4.0
3	三園	2.3
4	若木	1.6
5	高島平	1.4
	区平均	0.7

表4-20 緑被率増加の地区別順位 表 4-21 緑被率減少の地区別順位

順位	町丁目	緑被率変化下位
1	向原	▲ 1.6
2	成増	▲ 0.8
3	蓮沼町	▲ 0.6
4	東新町	▲ 0.6
5	中板橋	▲ 0.5
	区平均	0.7

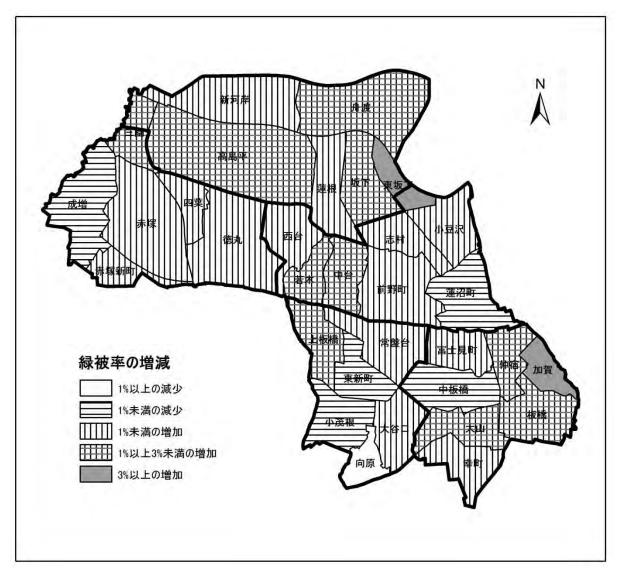


図4-32 地区別の緑被率の変化状況(1㎡以上の緑被地)

1) -6 緑被地の前回調査との比較(町丁目別)

- ・ 町丁目別では「緑被率」が3ポイント以上増加したのが5町丁目、1ポイント以上3ポイント未満の増加が40町丁目、1ポイント未満の増加が48町丁目、1ポイント未満の減少が27町丁目、1ポイント以上の減少が14町丁目であった。
- ・ 「緑被率」の増加が最も大きいのが東坂下二丁目で12.3ポイントの増加、次いで加賀二丁目が6.6ポイント、舟渡一丁目が3.8ポイントの増加であった。
- ・ 「緑被率」の減少では清水町が4.3ポイント、成増五丁目と向原三丁目が2.4ポイントの減少であった。

表 4-22 緑被率増加の町丁目別順位

順位	町丁目	緑被率変化上位
1	東坂下二丁目	12.3
2	加賀二丁目	6.6
3	舟渡一丁目	3.8
4	三園二丁目	3.5
5	若木三丁目	3.2
	区平均	0.7

表 4-23 緑被率減少の町丁目別順位

順位	町丁目	緑被率変化下位
1	清水町	▲ 4.3
2	成増五丁目	▲ 2.4
3	向原三丁目	▲ 2.4
4	栄町	▲ 2.3
5	成増四丁目	▲ 2.1
	区平均	0.7

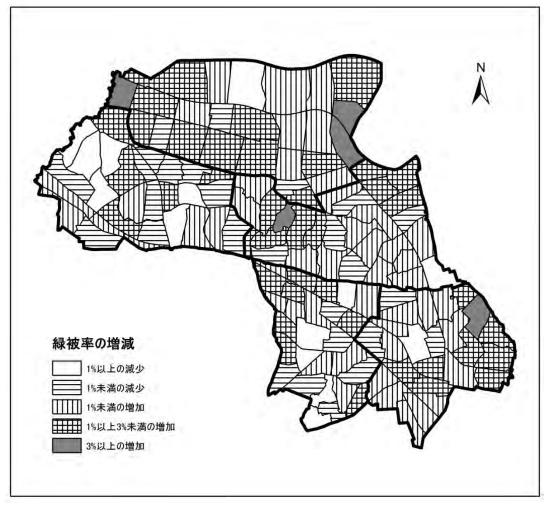


図4-33 町丁目別の緑被率の変化状況(1㎡以上の緑被地)

1) - 7 緑被地の前回調査との比較(土地利用別)

- ・ 宅地における土地利用別の緑被率の増加が最も大きいのは宿泊施設(5.6 ポイント増)、次いで処理施設(4.4ポイント増)、医療施設(2.4ポイント増)であった。
- ・ 宅地における土地利用別の緑被率が減少したのは、厚生施設 (2.4ポイント減)、文化施設 (1.3ポイント減)、宗教施設 (1.2ポイント減)、独立住宅 (0.5ポイント減)であった。
- ・ 住宅用地では独立住宅の緑化率は下がったが、集合住宅の緑被率は上昇した。
- ・ 独立住宅、集合住宅ともに敷地面積は増加しているが、新規に建設される 独立住宅は面積規模が小さいものが多いことから、緑被率は下降したと考 えられる。一方、集合住宅は面積規模が大きいものの場合、計画的に緑化 指導が行われていることから、屋上緑化を含めて緑化面積は増大している ことから、緑被率も上昇したと考えられる。

表4-24 土地利用別緑被率の推移

		土地利用	平成21年	緑被率(%)	平成26年	緑被率(%)	増減(ポイント差)
		官公庁施設		12.6		12.7	0.1
		教育施設		21.1		22.4	1.3
	公共用	文化施設	23.9			22.6	▲ 1.3
		宗教施設		45.4		44.2	▲ 1.2
		医療施設		19.3		21.7	2.4
	地	厚生施設		23.5		21.1	▲ 2.4
		供給施設		23.0		25.0	2.0
		処理施設		28.0		32.4	4.4
		計		23.8		25.0	1.2
		事務所建築物		8.0		8.8	0.8
		商業施設		5.8		6.5	0.7
4	商	公衆浴場等		6.9		8.3	1.4
宅地	業	住商併用建物		5.7		6.2	0.5
	用	宿泊施設		13.8		19.4	5.6
	地	遊興施設		6.2		7.1	0.9
		スポーツ施設		17.7		18.3	0.6
		計		6.7		7.3	0.6
	住	独立住宅		17.4		16.9	▲ 0.5
	宅用	集合住宅		14.4		15.2	0.8
	地	計		16.0		16.0	0.0
		専用工場		6.8		7.6	0.8
	エ	住居併用工場		5.2		5.6	0.4
	業用	運輸施設		5.7		6.6	0.9
	地	倉庫施設		7.8		9.3	1.5
		計		6.5		7.4	0.9
		屋外利用地		8.1		10.4	2.3
	空	公園•運動場等		74.3		75.0	0.7
	地	未利用地等		35.2		43.3	8.1
		計		44.3		47.1	2.8
	道路	Ş.		11.9		12.8	0.9
宅	鉄道	Ī		6.9		10.2	3.3
地	農	農林漁業施設		23.5		41.5	18.0
以	業	畑		83.1		83.8	0.7
外	用	樹園地		91.7		91.5	▲ 0.2
	地	計		82.9		83.9	1.0
	水面]•河川		12.6		13.0	0.4
	_ر ير	原野		88.0		86.3	▲ 1.7
	林野	森林		76.2		89.8	13.6
		計		87.8		86.3	▲ 1.5
		区全体		19.6		20.3	0.7

2) 植生被覆率の推移

2) -1 植生被覆地の前回調査との比較(区全域)

- ・ 「植生被覆地」は平成21年調査では620.3haであったが、平成26年調査では588.0haとなり32.29haの減少であった。
- ・ 「植生被覆率」では19.3%から18.3%と1.0ポイントの減少であった。
- ・ 減少の主な要因は、緑被の減少と同様に樹木被覆地の減少である。
- ・ 新たに緑地が増えた箇所は、建築に伴う緑地整備であり、建物の周囲や屋上緑化が多いが、それらの緑地は建物の影になるなど植生被覆としては抽出されないものが多い。そのため植生被覆率は減少したものと考えられる。

表4-25 植生被覆地の推移

区分	平成16年	平成21年	平成26年	H21-H26増減
植生被覆面積(ha)	585.3	620.3	588.0	▲ 32.3
植生被覆率(%)	18.2	19.3	18.3	▲ 1.0

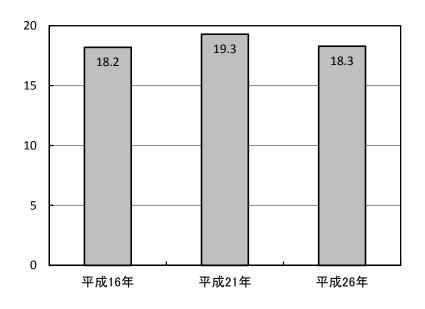


図4-34 植生被覆率の推移

2) - 2 植生被覆地の前回調査との比較(5地域別)

- ・ 高島平地域は0.2ポイントの増加であったが、他の4地域は減少であった。
- ・ 増加率の第1位は高島平地域で、次いで減少率の少ない地域から常盤台地域、志村地域、板橋地域、赤塚地域の順であった。
- ・ 高島平地域は河川敷内や荒川沿いの供給諸施設内の「植生被覆」の増加に よって、1地域のみ増加であった。
- ・ 未利用地等の一時的な草地と同様に農地も植生被覆として抽出されない ため、農地分布の多い赤塚地域では減少が大きくなった。

表 4-26 植生被覆率変化の地域別順位

順位	地域	植生被覆率変化
1	高島平	0.2
2	常盤台	▲ 1.2
3	志村	▲ 1.4
4	板橋	▲ 1.6
5	赤塚	▲ 1.6
_	区平均	▲ 1.0

[※]順位は小数点第2位以下の数値を反映している。

表4-27 地域別の植生被覆地の推移

地域	面積	平成	21年	平成	26年	増減		
地坝	(ha)	面積(ha) 構成比(%)		面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差	
板橋	525	68.7	13.1	60.4	11.5	▲ 8.3	▲ 1.6	
常盤台	467	80.6	17.3	75.0	16.1	▲ 5.6	▲ 1.2	
志村	645	110.0	17.1	100.8	15.6	▲ 9.2	▲ 1.4	
赤塚	655	137.5	21.0	126.8	19.4	▲ 10.7	▲ 1.6	
高島平	925	223.6	24.2	225.0	24.3	1.4	0.2	
区全域	3217	620.3	19.3	588.0	18.3	▲ 32.3	▲ 1.0	

2) -3 植生被覆地の前回調査との比較(32地区別)

・ 7地区では「植生被覆地」が増加であった。

表4-28 地区別の植生被覆地の推移

	面積	平成	21年	平成	平成26年		増減	
地区名	(ha)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差	順位
板橋	100.5	10.7	10.7	10.4	10.3	▲ 0.3	▲ 0.3	8
加賀	48.7	13.6	27.9	14.5	29.8	0.9	1.9	1
仲宿	57.6	6.3	11.0	5.3	9.2	▲ 1.0	▲ 1.8	23
幸町	75.6	7.0	9.2	5.5	7.3	▲ 1.5	▲ 2.0	26
大山	79.1	7.3	9.2	6.1	7.7	▲ 1.2	▲ 1.5	19
中板橋	100.3	13.7	13.7	10.3	10.3	▲ 3.4	▲ 3.4	32
富士見町	63.2	10.0	15.9	8.2	13.0	▲ 1.8	▲ 2.9	30
常盤台	106.1	16.5	15.6	15.2	14.3	▲ 1.3	▲ 1.3	15
向原	43.2	8.1	18.7	6.9	15.9	▲ 1.2	▲ 2.8	29
大谷口	82.7	10.6	12.8	9.0	10.9	▲ 1.5	▲ 1.8	25
小茂根	90.9	17.8	19.6	16.8	18.5	▲ 1.0	▲ 1.1	13
東新町	67.2	10.5	15.6	9.3	13.9	▲ 1.2	▲ 1.7	22
上板橋	77.0	17.1	22.3	17.8	23.1	0.6	0.8	5
蓮沼町	113.7	13.9	12.3	10.7	9.4	▲ 3.3	▲ 2.9	31
小豆沢	87.4	14.0	16.0	12.8	14.6	▲ 1.2	▲ 1.4	17
志村	71.9	11.4	15.9	9.9	13.8	▲ 1.5	▲ 2.1	27
前野町	143.6	22.2	15.5	19.8	13.8	▲ 2.5	▲ 1.7	21
中台	71.6	18.0	25.1	17.6	24.6	▲ 0.4	▲ 0.5	10
若木	53.2	9.4	17.6	9.5	17.9	0.2	0.3	7
東坂下	45.8	9.4	20.6	10.0	21.9	0.6	1.3	2
西台	85.1	19.2	22.5	18.8	22.1	▲ 0.4	▲ 0.5	9
徳丸	187.0	36.0	19.2	33.3	17.8	▲ 2.7	▲ 1.4	18
四葉	48.3	16.6	34.5	15.8	32.7	▲ 0.9	▲ 1.8	24
赤塚	195.4	41.5	21.2	38.2	19.6	▲ 3.2	▲ 1.7	20
赤塚新町	48.9	10.6	21.6	10.0	20.4	▲ 0.6	▲ 1.2	14
成増	142.0	27.6	19.5	24.2	17.0	▲ 3.4	▲ 2.4	28
三園	57.7	9.7	16.7	10.2	17.6	0.5	0.9	4
坂下	96.7	12.0	12.4	11.5	11.9	▲ 0.5	▲ 0.5	11
蓮根	93.8	14.0	14.9	13.4	14.3	▲ 0.6	▲ 0.6	12
舟渡	208.1	63.0	30.3	65.2	31.3	2.3	1.1	3
高島平	313.0	59.5	19.0	60.8	19.4	1.3	0.4	6
新河岸	161.7	63.0	39.0	60.9	37.7	▲ 2.1	▲ 1.3	16
合計	3,217.0	620.3	19.3	588.0	18.3	▲ 32.3	▲ 1.0	_

2) -4 植生被覆地の前回調査との比較(町丁目別)

・ 「植生被覆率」が1ポイント以上増加したのが12町丁目、1ポイント未満の 増加が16町丁目、1ポイント未満の減少が31町丁目、1ポイント以上3ポイ ント未満の減少が64町丁目、3ポイント以上の減少が11町丁目であった。

- 衣 4-73 - 旭 十 板 復 坐 ひ 多 11 12 カ 1こよ る 叫 I 日:	表 4-29	植生被覆率の変化区分による	计十月类
---	--------	---------------	------

植生被覆率の変化	町丁目数	割合(%)	
3%以上の減少	11	8.2	
1%以上3%未満の減少	64	47.8	
1%未満の減少	31	23.1	
1%未満の増加	16	11.9	
1%以上の増加	12	9.0	
合計	134		

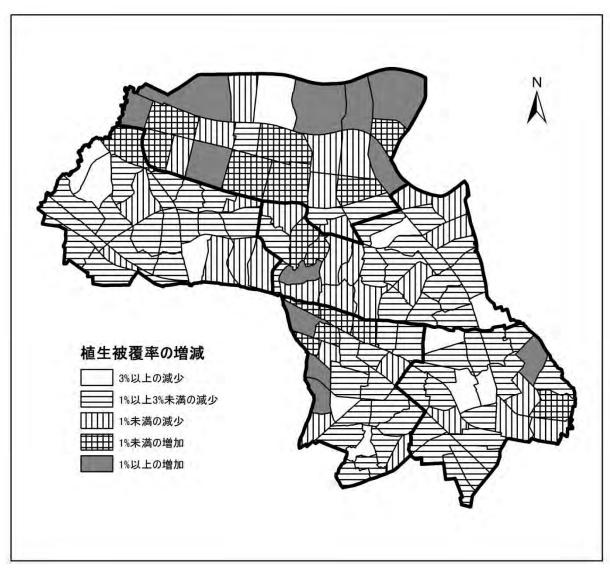


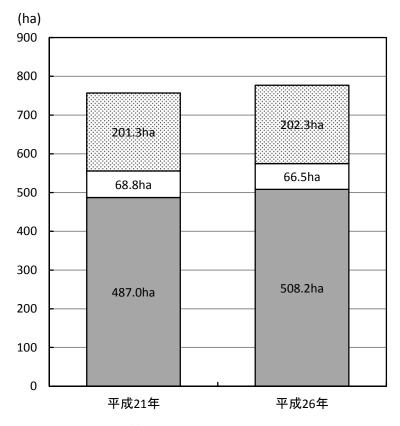
図4-35 町丁目別の植生被覆率の変化状況

3) みどり率の推移

- ・ 「みどり面積」は平成21年調査では757.1haであったが、平成26年調査では776.9haとなり19.8haの増加であった。
- ・ 「みどり率」では23.5%から24.2%と0.6ポイントの増加であった。
- ・ 公園以外の緑被地は21.2haの増加となっており、公園面積も新河岸東公園、 小茂根四丁目公園、大谷口公園などの開設により1.0haの増加となってい る。公園以外の水面は2.3ha減少している。

表 4-30 みどり率の推移

項目	平成21年		平成26年		増減	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	ポイント差
公園以外の緑被地	487.0	15.1	508.2	15.8	21.2	0.7
公園以外の水面	68.8	2.1	66.5	2.1	▲ 2.3	▲ 0.1
公園面積	201.3	6.3	202.3	6.3	1.0	0.0
みどり計	757.1	23.5	776.9	24.2	19.8	0.6



■公園以外の緑被地 □公園以外の水面 図公園面積

図 4-36 みどり率の変化状況